

# 令和5年 (令和4年版) 消防年報



瀬戸内市消防本部

# 目 次

## 管内概況

1 位置・地勢	1
2 管内人口・世帯数・面積	1

## 沿 革

瀬戸内市消防本部の沿革	2～10
-------------	------

## 消防概況

消防庁舎の概況	11～12
---------	-------

## 総 務

1 瀬戸内市消防本部の機構	13
2 歴代消防長	13
3 職員の定員・実員及び配置表	14
4 職員の階級別年齢状況	14
5 職員別年齢状況	15
6 職員の研修状況	16
7 応援協定締結状況	16
8 職員の特殊技能資格取得状況	17
9 予算	18

## 予 防

1 防火対象物の現況と立入検査状況及び消防用設備等点検結果報告状況	19
2 防火管理者選任・消防計画作成状況	20
3 建築同意事務処理状況	21
4 建築同意事務処理の推移	21
5 消防用設備等関係届出事務処理状況	21
6 火災予防に関する届出等	22
7 過去10年間の防火対象物別火災件数	23
8 危険物施設の現況	24
9 危険物施設の形態	25
10 危険物規制事務状況	25
11 危険物関係立入検査状況	26
12 高圧ガス保安法関係施設数	27
13 高圧ガス保安法関係事務処理状況	27
14 液化石油ガス法事務処理状況	27
15 火薬類取締関係事務処理状況	27
16 自主防災組織結成状況	28
17 防火・防災指導、実技指導、広報活動状況	29

## 通 信

1 通信指令施設	30～31
2 有線通信施設	31
3 無線通信施設（デジタル、アナログ）	32～33
4 火災報知専用電話（119）月別受信状況	34

5	医療機関問い合わせの受付状況	35
6	月別気象状況	35
7	瀬戸内市の震度に関する情報	36

## 警 防 消 防

1	消防車両現勢一覧	37
2	火災概況	38
3	過去3年間の出火原因別火災発生状況	39
4	過去5年間の火災発生比較	40
5	過去10年間の火災動向	41
6	水利現況	41

## 警 防 救 急・救 助

1	救急概況	42
2	時間別出場件数	43
3	過去5年の署所別出場件数	43
4	曜日別月別救急出場件数	44
5	事故種別出場件数と男女別搬送人員	45
6	傷病程度別搬送状況	45
7	年齢区分別傷病程度の状況	46
8	事故種別応急処置状況	47
9	急病にかかる疾病分類・傷病程度別搬送人員	47
10	医療機関別搬送人員	48
11	管内管外別搬送人員	49
12	現場到着所要時間別出動件数状況	49
13	収容所要時間別搬送人員状況	50
14	発生場所別搬送人員	50
15	過去10年間の救急業務の推移	51
16	事故種別年齢区分別搬送人員	52
17	実技指導	53
18	救助概況	54

## 消 防 団

1	消防団の組織及び定員	55
2	消防団階級別人員調	56
3	団員の階級別年齢状況	57
4	団員報酬及び諸手当	58
5	消防団車両状況	59
6	出動状況	60

# 管内概況

## 1 位置・地勢

瀬戸内市は岡山県の南東部(東経134°0'5"・北緯34°39'消防本部基準)に位置し、西に県下三大河川の一つである吉井川をへだてて県都岡山市に隣接し、東・南は瀬戸内海に面しており、北は備前市に接しています。東西20.5km、南北15.5km管内面積は125.46km<sup>2</sup>です。JR赤穂線が市内を走り、市の中心部を東西に岡山ブルーラインが横断する交通条件を背景に、都市近郊型の良好な住宅環境や企業の立地等により発展しています。

年間降雨量は1,200mm内外という寡雨地帯であり、気温も年平均14.5℃内外で四季を通じて気候の温暖な地域です。瀬戸内海国立公園を形成する海や海岸線をはじめ、緑豊かな丘陵などの自然に恵まれた美しい景観です。古くから開けたまちとして栄え、神社仏閣や古窯跡群、朝鮮通信使関連遺跡や城跡などの史跡、竹久夢二の生家やおさふね刀剣の里など多彩な歴史・文化資源があり、観光客が多く訪れています。また農業はもちろん、沿岸漁業や特にカキなどの養殖も盛んです。

平成16年11月に合併し、新しく誕生した瀬戸内市は、まちづくりの目標となる将来像を「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」として、市民一人ひとりが美しい海岸線や緑豊かな自然を愛し、ふるさとの歴史・文化に誇りを持ち、新しい夢を育み、生き生きと暮らせる住みよいまちづくりを進めています。



## 2 管内人口・世帯数・面積

令和5年4月1日現在

人口	男	17,584人	合計 36,366人
	女	18,782人	
世帯数	15,739世帯		
面積	125.46km <sup>2</sup>		

## 沿 革

### 瀬戸内市消防本部の沿革

昭和48年	7月	邑久地区消防組合設立協議会を設置。
	12月	邑久消防組合設置許可申請。
昭和49年	4月	邑久消防組合設立許可。(岡山県指令地第2号)
	〃	消防本部及び消防署設置についての政令指定を受ける。
	〃	消防職員15名を採用。
	5月	連絡車1台購入。
昭和50年	6月	邑久消防組合消防本部、邑久消防署の業務を開始。
	3月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
昭和50年	4月	消防職員7名採用し、総員22名となる。
	〃	救急業務開始。
	5月	邑久消防組合消防本部、邑久消防署庁舎完成。
	7月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	無線中継局舎完成。
	10月	無線局開局。
昭和51年	3月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	消防職員5名採用し、総員27名となる。
	6月	小型動力ポンプB-3級購入。
	7月	化学車1台購入。
昭和52年	4月	消防職員5名と一般職員1名採用し、総員33名となる。
	7月	日本消防協会より広報車1台寄贈を受ける。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	牛窓分駐所庁舎完成。消防職員8名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配備。
	12月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
昭和53年	2月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	消防職員9名採用し、総員42名となる。
	9月	日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受ける。
	10月	長船分駐所庁舎完成。消防職員8名、消防ポンプ自動車

		1台、救急車1台を配備。
昭和54年	3月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	〃	消防職員1名退職し、総員41名となる。
	4月	消防職員3名採用し、総員44名となる。
	9月	日本防火協会より予防広報車1台寄贈を受ける。
昭和55年	4月	消防職員1名採用し、総員45名となる。
	9月	日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受ける。
昭和56年	2月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	小型動力ポンプC-1級購入。
	9月	日本消防協会より指令広報車1台寄贈を受ける。
昭和57年	7月	消防職員1名退職し、総員44名となる。
昭和58年	8月	日本消防協会より救出救助用資器材搬送車1台寄贈を受ける。
昭和59年	4月	緊急連絡車1台購入。
昭和60年	2月	邑久消防組合敷地拡張造成工事をする。
	8月	邑久消防組合敷地購入。
	10月	15mはしごバスケット付消防ポンプ自動車購入。
	12月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
昭和61年	10月	消防庁舎増改築工事竣工。
昭和62年	3月	消防庁長官表彰 竿頭綬を受賞する。
	8月	邑久消防組合敷地購入。
	9月	日本消防協会より指令車1台寄贈を受ける。
	〃	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
	10月	照明付救助工作車購入。
	12月	日本自動車工業会より救急車1台寄贈を受ける。

昭和63年	8月	邑久消防組合敷地購入。
平成元年	3月	邑久消防組合訓練場造成完成。
	〃	消防職員1名退職し、総員43名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員45名となる。
	5月	連絡車1台購入。
平成2年	1月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	9月	日本防火協会より予防広報車1台寄贈を受ける。
平成3年	3月	消防職員2名退職し、総員43名となる。
	4月	消防長、邑久町役場より出向し、総員44名となる。
	5月	連絡車1台購入。
	12月	ISDN119番2台設置。
平成4年	2月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	3月	消防職員1名退職し、総員43名となる。
	4月	消防職員3名(内1名は女性消防士)採用し、総員46名となる。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	今城地区119番電話回線切替え。
平成5年	4月	消防職員2名を採用し、総員48名となる。
	〃	臨時職員を1名採用する。
	〃	一般職員から消防職員(女性消防吏員)に任命する。
	9月	臨時職員1名退職する。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	11月	新消防庁舎の敷地造成起工。
平成6年	3月	新消防庁舎の敷地造成完成。
	4月	消防職員2名採用し、総員50名となる。
	〃	臨時職員1名採用する。
	5月	邑久消防組合消防本部、消防署新庁舎及び防災センター起工。
	8月	邑久町虫明 横山春松氏より救急車1台寄贈を受ける。

平成7年	1月	兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）が発生し、神戸市へ応援活動。
	3月	邑久消防組合消防本部、消防署新庁舎及び防災センター完成。
	3月	通信指令設備新設（総合指令台Ⅰ型、無線通信設備、気象観測装置、支援情報表示盤、非常用指令設備、録音装置、職員出退表示、電話交換機）
	〃	邑久消防組合20周年記念式典及び新庁舎完成落成式典。
	4月	新消防庁舎へ移転、防災センター業務開始。
	〃	消防職員2名採用し、総員52名となる。
	〃	防災通信ネットワーク完成、運用開始。
	9月	臨時職員1名退職。
	10月	臨時職員1名採用する。
	11月	旧消防庁舎解体工事完了。
	12月	訓練塔完成（鉄筋コンクリート造・5階建）
	〃	消防職員1名退職し、総員51名となる。
平成8年	4月	消防職員3名採用し、総員54名となる。
	5月	資機材搬送車（軽四輪車）1台購入。
	8月	可搬積載車1台購入。
	10月	消防職員委員会発足。
	〃	水槽付消防ポンプ自動車1台購入。
	12月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
平成9年	1月	消防職員1名退職し、総員53名となる。
	3月	消防長退任・職員1名退職し、総員51名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員52名となる。
	〃	消防長、再任用され、総員53名となる。
	〃	救急救命士2名誕生する。
	7月	消防職員1名退職し、総員52名となる。
平成10年	4月	消防職員1名採用し、総員53名となる。
	〃	岡山県災害医療情報システム設置、運用開始。
	〃	救急救命士3名となる。
	11月	移動体通信119番転送、受信装置設置、運用開始。



平成11年	2月	高規格救急車1台購入。
	3月	消防長退任・職員1名退職し、総員51名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員52名となる。
	〃	消防長就任、総員53名となる。
	〃	救急救命士4名となる。
	〃	高規格救急車、運用開始。
平成12年	12月	コンピューター西暦2000年問題警戒体制をとる。
	4月	消防職員1名採用し、総員54名となる。
	〃	救急救命士5名となる。
	8月	日本損害保険協会より化学車1台寄贈を受ける。
平成13年	11月	指揮車1台購入。
	3月	日本消防協会より司令車1台寄贈を受ける。
	〃	消防庁長官表彰 表彰旗を受賞する。
	4月	救急救命士6名となる。
	5月	連絡車1台購入。
	6月	邑久郡防災広域ネットワーク運用開始。
	8月	資機材搬送車1台購入。
平成14年	〃	可搬積載車(軽四)1台購入。
	3月	日本自動車工業会より高規格救急車1台寄贈を受ける。
	〃	消防職員1名退職し、総員53名となる。
	4月	職員定数条例の改正により定数68人となる。
	〃	消防職員4名採用し、総員57名となる。
	〃	救急救命士7名となる。
平成15年	〃	連絡車1台購入。
	4月	消防職員5名採用し、総員62名となる。
	〃	救急救命士8名となる。
平成16年	6月	消防職員1名退職し、総員61名となる。
	3月	消防職員1名退職し、総員60名となる。
平成16年	〃	消防ポンプ自動車1台購入。
	4月	消防職員5名採用し、総員65名となる。
	〃	救急救命士9名となる。
	7月	消防職員1名退職し、総員64名となる。

平成17年	1 1 月	瀬戸内市発足に伴い、瀬戸内市消防本部となる。
	〃	瀬戸内市から職員1名配属され、総員65名となる。
	〃	瀬戸内市より連絡車1台寄贈を受ける。
	1 2 月	消防職員1名退職し、総員64名となる。
	〃	救助工作車1台を更新。
	1 月	消防職員1名退職し、総員63名となる。
	4 月	消防職員5名採用し、総員68名となる。
平成18年	〃	救急救命士10名となる。
	1 0 月	長船分駐所の増・改修工事完了。
	1 1 月	高規格救急車1台購入。
	1 2 月	携帯電話からの119番直接受信開始。
	3 月	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4 月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士11名となる。
平成19年	1 2 月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	1 月	はしご車1台を更新。
	3 月	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4 月	消防長、就任し総員68名となる。
	〃	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士12名となる。
	5 月	瀬戸内市消防団より消防ポンプ自動車1台移管。
平成20年	1 2 月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	3 月	消防職員2名退職し、総員66名となる。
	4 月	消防職員1名採用し、総員67名となる。
	〃	救急救命士13名となる。
平成21年	3 月	消防長退任、消防職員2名退職し、総員64名となる。
	4 月	消防職員4名採用し、総員68名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士14名となる。
	1 1 月	高規格救急車1台購入。
平成22年	3 月	牛窓分駐所CD-I消防ポンプ自動車1台更新。

平成23年	〃	高機能指令センター統合型指令装置更新整備。
	〃	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士15名となる。
	7月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
平成24年	3月	東日本大震災が発生し、宮城県多賀城市へ応援活動。
	〃	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士16名となる。
平成25年	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士17名となる。
	11月	全国共済農業協同組合連合会岡山県本部より、高規格救急車1台寄贈を受ける。
平成26年	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流を終了する。
	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士17名となる。
平成27年	3月	消防長退任し、総員68名となる。
	〃	瀬戸内市職員1名市へ帰職し、総員67名となる。
	4月	消防救急デジタル無線運用開始。
	〃	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士18名となる。
平成28年	8月	豪雨による広島土砂災害が発生し、安佐南区へ応援活動。
	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
〃	救急救命士19名となる。	

平成28年	4月	岡山県消防学校と人事交流し職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士20名となる。
	〃	熊本地震が発生し、熊本県益城町へ応援活動。
平成29年	3月	消防職員2名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員5名採用し、総員72名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士22名となる。
	〃	岡山県消防防災航空隊へ1名派遣する。
	10月	消防職員1名退職し、総員71名となる。
平成30年	3月	消防職員5名退職し、総員66名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員72名となる。
	〃	救急救命士23名となる。
	7月	平成30年7月豪雨災害が発生し、倉敷市真備町へ県下消防相互応援協定に基づく応援活動。
平成31年	3月	消防職員2名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員76名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士24名となる。
令和元年	6月	消防職員1名退職し、総員75名となる。
令和2年	3月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	消防職員8名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員73名となる。
	〃	岡山県消防学校へ1名派遣する。
	〃	救急救命士26名となる。
12月	日本損害保険協会より、高規格救急車1台寄贈を受ける。	
令和3年	3月	消防職員3名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員3名採用し、総員73名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士25名となる。
	9月	消防職員1名退職し、総員72名となる。

令和4年	10月	長船分駐所庁舎新設移転。
	12月	高規格救急車1台購入。
	2月	支援車Ⅱ型（クレーン付き資機材搬送車）1台購入。
	3月	消防職員2名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員3名（内1名は女性消防士）採用し、総員73名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
令和5年	〃	救急救命士23名となる。
	2月	13mブーム付き多目的消防ポンプ車1台購入。
	4月	消防職員1名採用し、総員74名となる。
	〃	救急救命士25名となる。
〃	岡山県消防防災航空隊へ1名派遣する。	

## 消防概況

### 消防庁舎の概況

消防本部・消防署・防災センター



所在地	岡山県瀬戸内市邑久町本庄 1795 番地
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 2 階建
延床面積	2008.92㎡ (防災センター555㎡)
敷地面積	8077.46㎡
	平成7年3月竣工

### 消防訓練塔



構造	鉄筋コンクリート造 5 階建
地上高	18.80m
建築面積	34.32㎡
延床面積	138.87㎡
	平成7年12月竣工

## 瀬戸内市消防署 牛窓分駐所



所在地	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓 6405-1
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
延床面積	201.21 m <sup>2</sup>
敷地面積	341.25 m <sup>2</sup>
	昭和 52 年 10 月竣工

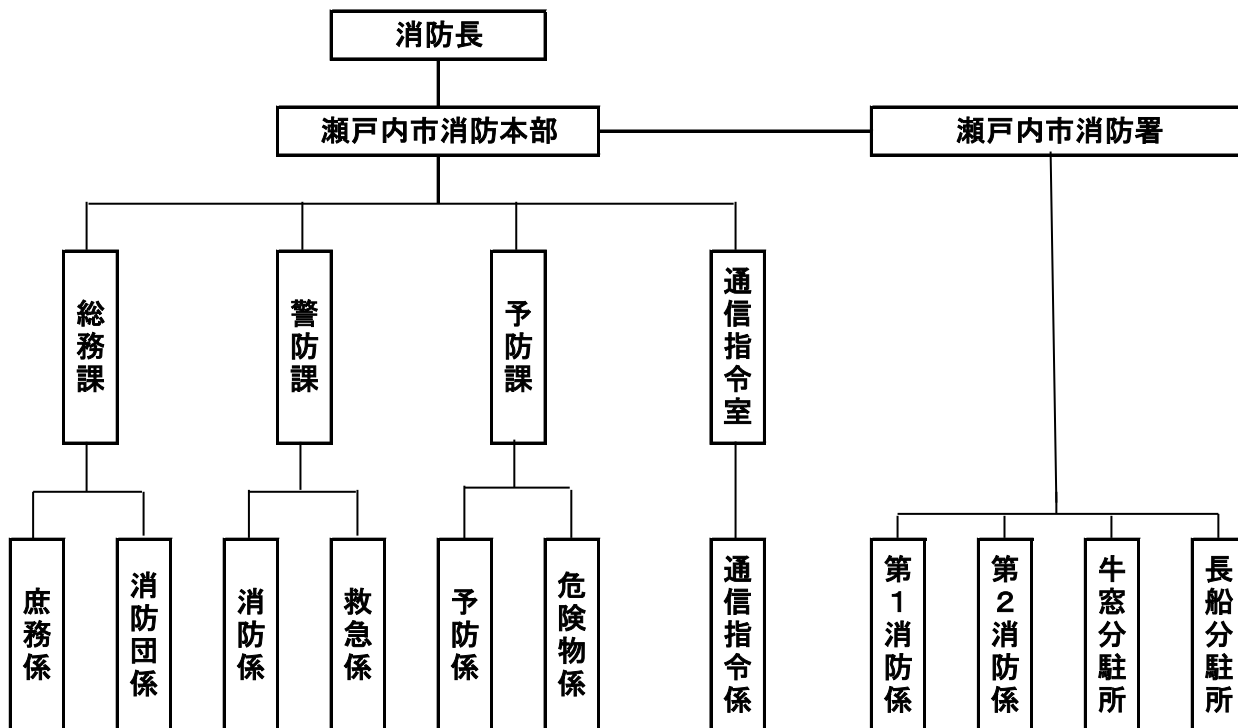
## 瀬戸内市消防署 長船分駐所



所在地	岡山県瀬戸内市長船町土師 3 1 3-7
構造	鉄筋コンクリート 2階建
延床面積	320.95 m <sup>2</sup>
敷地面積	725.97 m <sup>2</sup>
	令和 3 年 10 月竣工

## 総務

### 1. 瀬戸内市消防本部の機構



### 2. 歴代消防長

瀬戸内市消防本部				
歴代 消 防 長	初代	太田英晴	H 16.11.1 ~ H 18.3.31	専任
	2代	藤原和正	H 18.4.1 ~ H 19.3.31	〃
	3代	小野田和義	H 19.4.1 ~ H 21.3.31	〃
	4代	柴田佳明	H 21.4.1 ~ H 26.3.31	〃
	5代	岡崎政人	H 26.4.1 ~ H 29.3.31	〃
	6代	鶴海栄一	H 29.4.1 ~ H 31.3.31	〃
	7代	高原正利	H 31.4.1 ~ R 3.3.31	〃
	8代	田淵光彦	R 3.4.1 ~ R 4.3.31	〃
	9代	植松謙二	R 4.4.1 ~ (現在)	〃



### 3. 職員の定員・実員及び配置表

【定員100名】

令和5年4月1日現在

階級		区分	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
		実員	74	1	15	21	15	12	10
実員配置列	消防本部	消防長	1	1					
		次長							
		総務課	6		2	3 (3)	1 (2)		(1)
		警防課	3		1	2 (3)	(3)	(1)	(4)
		予防課	5		2	2	1 (1)	(3)	(1)
		通信指令室	7		3	2 (1)	2 (2)	(6)	(2)
	消防署	40		7	7 (7)	8 (4)	10	8	
	分駐所	12			4	4	2	2	

( )内は兼務

### 4. 職員の階級別勤続年数

令和5年4月1日現在

階級	年数区分	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
	1年未満	1						1
	1年以上～5年未満	16				2	6	8
	5年以上～10年未満	12				5	6	1
	10年以上～15年未満	9			3	6		
	15年以上～20年未満	12			10	2		
	20年以上～25年未満	10		3	7			
	25年以上～30年未満	10		10				
	30年以上～35年未満	3		2	1			
	35年以上	1	1					
	計	74	1	15	21	15	12	10

## 5. 職員別年齢状況

【定員100名】

令和5年4月1日現在

階級 区分	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総数	74	1	15	20	16	12	10
18歳	0						
19歳	0						
20歳	1						1
21歳	1						1
22歳	2						2
23歳	3						3
24歳	2						2
25歳	6					5	1
26歳	1					1	
27歳	1					1	
28歳	3				1	2	
29歳	3				1	2	
30歳	0						
31歳	2				2		
32歳	1				1		
33歳	4				3	1	
34歳	3				3		
35歳	3				3		
36歳	5			4	1		
37歳	2			1	1		
38歳	3			3			
39歳	1			1			
40歳	0						
41歳	4			4			
42歳	1			1			
43歳	3			3			
44歳	2			2			
45歳	2		2				
46歳	3		3				
47歳	5		5				
48歳	0						
49歳	1		1				
50歳	2		2				
51歳	0						
52歳	0						
53歳	1		1				
54歳	2		1	1			
55歳	1	1					
56歳	0						
57歳	0						
58歳	0						
59歳	0						
60歳	0						
平均年齢	36.1	55	47.9	40.4	33.1	27.1	22.7

## 6. 職員の研修状況（過去15年間）

令和5年4月1日現在

	年	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	総数	
岡山県消防学校	初任教育	1	4	2	2		1	2	1		4	5	6	5	3	3	39	
	幹部教育(初級幹部科)	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	19
	幹部教育(中級幹部科)								1	2	1	1	1	1	2	2	2	11
	救助科	1	1	3	2	2	1	1	2	1	1	4	5	6	4	3	3	37
	予防科	1		1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	18
	救急科	1	4	2	2		1	2	1		4	5	6	5	3	3	3	39
	警防科		1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	18
	火災調査科	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	2	2	19
	通信指令研修															2	2	4
	救急二次救命講習	2		1		1												4
	ビデオ硬性喉頭鏡講習					1	3	4	2			2	2					14
	ショック輸液・ブドウ糖投与講							1	2		3							6
	救急外傷初療講習		1		1		1											3
	MCLS							1										1
	ブラッシュアップ研修														2	2	2	6
	実火災体験型訓練指導者研修												1		4	4	9	
消防大学校	予防科											1					1	
	警防科								1					1			2	
	幹部科			1											1	1	3	
	救急科																0	
	火災原因調査科										1						1	
	救助科																0	
	危険物科																0	
	火災調査講習会																0	
	調査研究科(自主防災指導者コース)																0	
その他	ドローン検定													2	2	2	6	
	墜落制止用器具特別教育													2	2	2	6	
	MCLS標準コース							1	1	1	1	2					6	
	JPTEC						1	1		2	1	1					6	
	緊急自動車運転技能研修													1		1	2	
救急救命士養成研修	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
指導救命士養成研修										1			1		1	3		

## 7. 応援協定締結状況

	締結先	締結年月日
1	東 備 消 防 組 合	昭和51年5月1日
2	赤 磐 市 消 防 本 部	昭和51年7月1日
3	岡 山 市 消 防 局	平成17年3月22日
4	岡山県下消防相互応援協定	平成20年3月31日

## 8.職員の特殊技能資格取得状況

令和5年4月1日現在

階 級 資 格 別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
		実 員	1	15	20	16	12	10
大 型 ( 第 1 種 ) 運 転 免 許			14	19	16	8	1	58
特 殊 無 線 技 師 ( 2 級 特 技 )		1	15	20	16	12	9	73
小 型 船 舶 操 縦 士			3	9	9	3	1	25
ア セ チ レ ン ガ ス 溶 接			2	2	1			5
労 働 衛 生 管 理 者 ( 第 1 種 )				1	3		1	5
電 気 工 事 士			1	1	1			3
移 動 式 ク レ ー ン		1	8	12	10	2		33
玉 掛 け		1	9	12	10	3		35
救 急 救 命 士			8	11	4	2		25
消 防 設 備 士	甲 種			1				1
	乙 種		1	2	1	1	1	6
危 険 物 取 扱 者	甲 種			1				1
	乙 種		6	11	6	4	2	29
予 防 技 術 者 資 格 ( 防 火 査 察 専 門 員 )			2	9	3	1		15
予 防 技 術 者 資 格 ( 消 防 用 設 備 等 専 門 員 )			1	5	1			7
予 防 技 術 者 資 格 ( 危 険 物 専 門 員 )				7	1			8
ド ロ ー ン 検 定			1	4	2	1		8
フ ル ハ ー ネ ス 型 墜 落 制 止 用 器 具				2	3			5
潜 水 士			2	1	6	4		13

## 9.予 算

(1) 令和5年度消防予算（当初）額と令和4年度消防予算（当初）額 単位：千円

	令和5年度予算	令和4年度予算	比 較 増 減
<b>常備消防費</b>	585,425	561,593	23,832
給料	261,938	256,339	5,599
職員手当等	171,699	150,827	20,872
共済費	75,416	72,008	3,408
報償費	10	10	0
旅費	1,313	1,511	△ 198
需用費	22,298	19,460	2,838
役務費	10,200	7,552	2,648
委託料	8,307	8,041	266
使用料及び賃貸料	2,713	2,551	162
工事請負費	185		185
原材料費	10	20	△ 10
備品購入費	1,598	1,280	318
負担金補助及び交付金	29,026	41,515	△ 12,489
公課費	712	479	233
<b>非常備消防費</b>	46,319	47,369	△ 1,050
報酬	20,601	20,943	△ 342
報償費	30	30	0
旅費	5,186	5,130	56
交際費	50	50	0
需用費	3,230	4,086	△ 856
役務費	2,031	2,053	△ 22
委託料	58	58	0
使用料及び賃貸料	66	72	△ 6
備品購入費	80	25	55
負担金補助及び交付金	14,503	14,536	△ 33
公課費	484	386	98
<b>消防施設費</b>	92,810	113,205	△ 20,395
委託料	7,930		7,930
工事請負費	2,145		2,145
備品購入費	80,835	111,705	△ 30,870
負担金補助及び交付金	1,900	1,500	400
<b>合 計</b>	<b>724,554</b>	<b>722,167</b>	<b>2,387</b>

(2) 令和4年度消防予算（当初）額等の比率

単位：円

	総 額	人口1人当り	1世帯当り	1日当り
消防予算（当初）額	724,554,000	19,819	46,036	1,985,079

※水防費は除く

# 予 防

## 1. 防火対象物の現況と立入検査状況及び消防用設備等点検結果報告状況

令和4年度

防火対象物の区分		防火対象物数	立入検査数	立入検査率	点検結果報告件数
1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場				
	ロ 公会堂・集会場	52	38	73%	36
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ 遊技場・ダンスホール	3	2	67%	2
	ハ 風俗営業店舗等・その他総務省令				
	ニ カラオケボックスその他	1	1	100%	1
3	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店	17	7	41%	4
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	56	28	50%	35
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	47	21	45%	31
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	155	36	23%	25
6	イ 病院・診療所・助産所等	121	16	13%	9
	ロ 老人短期入所施設等	15	10	67%	9
	ハ 老人デイサービスセンター等	43	26	60%	26
	ニ 幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	6	4	67%	5
7	小・中・高・大・各種学校等	49	3	6%	49
8	図書館・博物館・美術館等	15	2	13%	8
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等				
	ロ イ以外の公衆浴場				
10	車両の停車場・船舶・航空機の発着場				
11	神社・寺院・教会等	29	21	72%	19
12	イ 工場・作業場	252	80	32%	90
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ 自動車車庫・駐車場	18	2	11%	3
	ロ 飛行機・回転翼航空機の格納庫				
14	倉庫	196	51	26%	60
15	前各項に該当しない事業所	205	38	19%	73
16	イ 特定複合用途防火対象物	60	31	52%	31
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	62	20	32%	17
16の2	地下街				
16の3	準地下街				
17	重要文化財・重要美術品等の建造物	15	12	80%	5
18	延長50m以上のアーケード				
19	市町村の指定する山林				
20	総務省令で定める舟車				
合 計		1,417	449	31.7%	538

備考 建築物は、17の項を除き延べ面積が150㎡以上のものを、防火対象物数にあっては、3月31日現在で、計上している

## 2. 防火管理者選任・消防計画作成状況

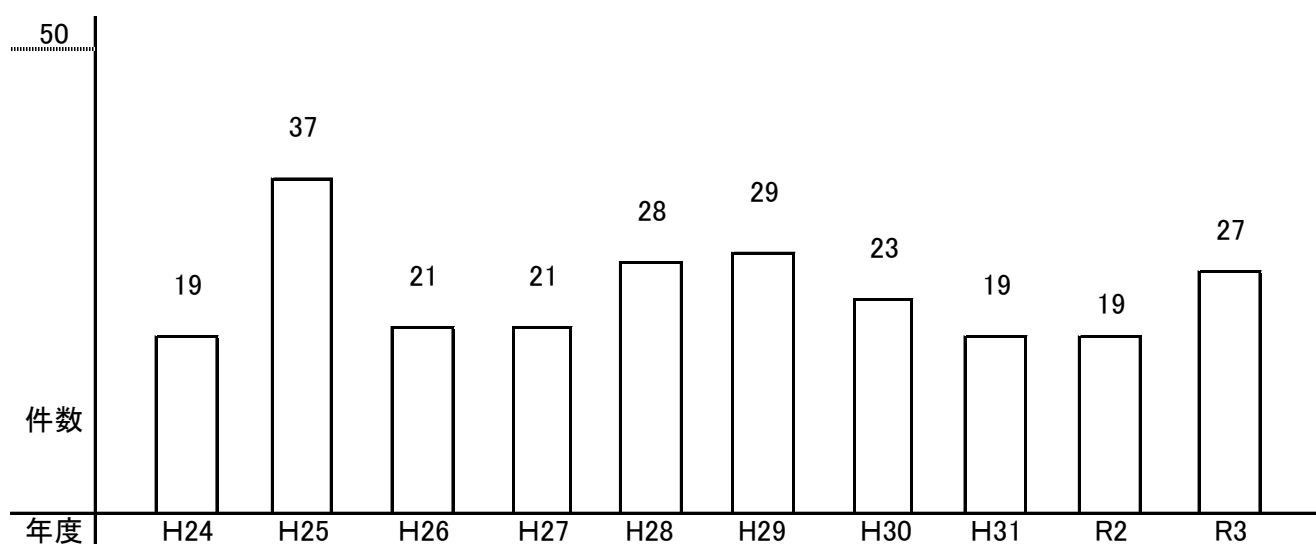
令和4年度

防火対象物の区分		防火管理者選任 及び消防計画作成 義務対象物数	防火管理者届出 済対象物数	消防計画届出 済対象物数
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		
	ロ	公会堂・集会場	40	38
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等		
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	3
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令		
	ニ	カラオケボックスその他		
3	イ	待合・料理店等		
	ロ	飲食店	11	11
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	43	38
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	17	17
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	11	8
6	イ	病院・診療所・助産所等	9	9
	ロ	老人短期入所施設等	15	14
	ハ	老人デイサービスセンター等	25	25
	ニ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	5	5
7		小・中・高・大・各種学校等	16	16
8		図書館・博物館・美術館等	7	7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等		
	ロ	イ以外の公衆浴場		
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場		
11		神社・寺院・教会等	7	4
12	イ	工場・作業場	30	27
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫・駐車場		
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫		
14		倉庫	6	6
15		前各項に該当しない事業所	21	20
16	イ	特定複合用途防火対象物	33	33
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	7	4
16の2		地下街		
16の3		準地下街		
17		重要文化財・重要美術品等の建造物	1	
18		延長50m以上のアーケード		
19		市町村の指定する山林		
20		総務省令で定める舟車		
		合 計	239	211
				208

### 3. 建築同意事務処理状況 令和4年度

工事種別	件数
新築	15
増築	3
改築	0
その他	1
合計	19

### 4. 建築同意事務処理の推移



### 5. 消防用設備等関係届出事務処理状況

令和4年度

	消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災通報装置	非常警報設備（ベル）	非常警報設備（放送）	避難器具	誘導灯及び誘導標識	消防用水	連結送水管	不活性ガス消火設備
着工届	1	1	0	0	0	2	2	27	0	4	2	3	2	20	0	0	0
設置届	24	2	2	0	0	3	2	59	0	4	0	2	0	28	0	1	1



## 6. 火災予防に関する届出件数

令和4年度

届出等の種別	月別													
	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
防火対象物使用開始届	74	5	1	8	4	2	6	5	2	5	14	6	16	
防火管理者選任・解任届	72	6	3	4	5	5	4	14	8	5	6	8	4	
消防計画作成・変更届	86	16	5	4	4	7	4	13	9	5	8	6	5	
防火対象物点検結果報告書	28	0	3	1	1	2	2	4	4	5	1	2	3	
自衛消防訓練通知書	369	28	37	38	18	13	21	38	63	22	16	21	54	
改修計画書	148	4	11	8	13	13	16	5	13	16	8	12	29	
消防用設備等計画届	11	0	0	1	1	0	2	4	1	1	1	0	0	
消防用設備等特例適用申請 消防用設備等免除申請	1				1									
液化石油ガス等の貯蔵取扱い届	0													
少量危険物・指定可燃物の貯蔵取扱い届	18	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	4	2	
火を使用する設備の設置届	13	1	0	0	1	1	2	2	1	2	0	1	2	
変電・発電・蓄電池設備の設置届	6	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	0	
煙火打上げ届	18	2	1	4	1	2	1	2	2	1	0	1	1	
露店等の開設届出書	27	4	1	1	2	2	3	3	3	2	1	1	4	
火災とまぎらわしい煙(火災)を発生する行為の届	118	8	4	6	5	14	8	9	15	6	14	11	18	
圧縮アセチレンガス貯蔵開始届	14	1	1	1	2	0	1	1	1	1	2	1	2	
合 計	1003	76	68	77	60	64	73	102	123	72	72	76	140	

## 7. 過去10年間の防火対象物別火災件数

防火対象物の区分		25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	2年	3年	4年	
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場										
	ロ	公会堂・集会場										
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令										
	ニ	カラオケボックスその他										
3	イ	待合・料理店等										
	ロ	飲食店										
4								1				
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所										
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅										
6	イ	病院・診療所・助産所等										
	ロ	老人福祉施設・児童福祉施設等										
	ハ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校										
7		小・中・高・大・各種学校等										
8		図書館・博物館・美術館等										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等										
	ロ	イ以外の公衆浴場										
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場										
11		神社・寺院・教会等										
12	イ	1	1		3		1	2	1		1	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ										
13	イ	自動車車庫・駐車場										
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫										
14						1	2					
15								1		1	1	
16	イ	特定複合用途防火対象物										
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物										
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		重要文化財・重要美術品等の建造物										
18		延長50m以上のアーケード										
19		市町村の指定する山林										
20		総務省令で定める舟車										
合計		1	2	3	5	4	1	2	2	1	3	

備考 [ ]書きは死者、( )書きは負傷者の人数を表す

## 8. 危険物施設の現況

令和4年度

製造所等の別 指定数量の倍数別 類別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所
合計	154	9	29	18	1	34	1	6	2	26	28
5倍以下	52	2	12	11		15	1	6			6
5倍を超え 10倍以下	27	2	6	3	1	6			2		7
10倍を超え 50倍以下	47	4	5	2		9				15	12
50倍を超え 100倍以下	11	1	3							4	3
100倍を超え 150倍以下	9		2	2		1				4	
150倍を超え 200倍以下	1		1								
200倍を超え1000倍以下	6					3				3	
第3類のみ	1		1								
第4類のみ	148	7	25	18	1	34	1	6	2	26	28
類混在	5	2	3								

9. 危険物施設の形態

令和4年度

形態の区分	合計	製造所	屋内貯蔵所					平屋建以外	建築物内設置	屋外タンク貯蔵所		屋内タンク貯蔵所	平屋建以外	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	積載式	給油タンク車
			平高層式	屋建指定過酸化		特高層式	準特			特								
				特	定													
数	154	9	29		1				18		1		34	1	6			

形態の区分	屋外貯蔵所	硫黄等	給油取扱所							一般取扱所										
			セルフ	航空機	船舶	鉄道又は軌道	自家用	セルフ	吹付塗装作業	洗浄作業	焼入作業等	ボイラー等消費	充てん	詰替え	油圧装置等	切削装置等	循環装置油等			
																		セルフ	セルフ	
数	2		26	4		3		14		28	1			2	2	8				

10. 危険物規制事務状況

令和4年度

区分	許可						完成検査						タンク検査		承認		認可		受理																		
	設置			変更			設置			変更			水	水	仮使用	仮貯蔵・仮取扱	予防規程制定・変更	保安監督者選任・解任届	品名・数量・倍数の変更届	火気使用工事届	危険物非定常作業届	関係届				休止・再開届	譲渡・引渡届	廃止届	事故届								
	製	貯	取	製	貯	取	製	貯	取	製	貯	取										代表者氏名等の変更	危険物以外の物品の貯蔵	資料の提出	申請の取下げ												
種別	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
数			1	2		10		1	1	2		6	1		7	1		20	4	3		4		25			2									1	

# 11. 危険物関係立入検査状況

令和4年度

製造所等の別	合計	無許可・無承認の場所	仮貯蔵・仮取扱	危険物施設										少量危険物貯蔵取扱所	施工検査	休止・再開検査	廃止検査	道路上等		事故調査	
				製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所					移動タンク貯蔵所	危険物運搬車両		
対象施設数	156	0	1	9	29	18	1	34	1	7	2	26	28	267	2	0	0	3	0	1	
実施施設数	53	0	1	4	8	8	0	4	1	3	0	13	8	15	2	0	3	3	0	1	
実施率(%)	令和3年度	35	0	100	44	27	44	0	11	100	42	0	50	28							
	令和2年度	70	0	0	9	13	4	0	4	0	0	6	4								
	平成31年度	70	0	0	100	62	33	0	18	0	100	0	54	36							
	平成30年度	113	0	0	100	66	56	0	53	0	100	0	81	69							
	平成29年度	113	0	0	100	80	94	0	39	0	100	0	100	55							
	平成28年度	17	0	0	0	7	5	0	10	0	89	0	30	15							
	平成27年度	9	0	0	0	0	5	0	15	0	30	0	10	12							
	平成26年度	52	0	0	100	45	53	0	38	100	89	0	39	54							
	平成25年度	29	0	0	0	10	32	0	13	0	100	0	58	28							

## 12. 高圧ガス保安法関係施設数

令和4年度

区 分	一 般 ・ L P 則	冷 凍 則	合 計
第 1 種 製 造 者	2	4	6
第 2 種 製 造 者	4	28	32
第 1 種 貯 蔵 所	1	0	1
第 2 種 貯 蔵 所	3	0	3
販 売 業 者	7	0	7
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者	4	0	4

## 13. 高圧ガス保安法関係事務処理状況

令和4年度

区 分	件 数
製 造 許 可	0
製 造 施 設 等 変 更 許 可	0
貯 蔵 所 設 置 許 可	0
貯 蔵 所 変 更 許 可	0
製 造 ・ 貯 蔵 完 成 検 査	0
販 売 事 業 届	1
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届	0
そ の 他 の 届	22
保 安 検 査	1
合 計	24

## 14. 液化石油ガス法事務処理状況

令和4年度

区 分	件 数	
充 て ん 設 備	許 可 ( 変 更 )	0
	完 成	0
	保 安 検 査	0
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	4	

## 15. 火薬類取締関係事務処理状況

令和4年度

区 分	件 数	
許 可	消 費 許 可	2
立 入 検 査	煙 火 消 費 場 所	2

## 16. 自主防災組織結成状況

令和5年4月1日現在

	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ		合 計	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
牛窓町	6	253	5	100	2	43	13	396
邑久町	9	1016	4	497	15	405	28	1918
長船町	9	676	4	329	3	69	16	1074
合 計	24	1945	13	926	20	517	57	3388



大町での防火防災啓発活動

## 17. 防火・防災指導、実技指導、広報活動状況

### (1) 防火・防災指導 令和4年度

内 容	回 数
防火・防災講話	3
防災映画・ビデオ等	0
消防署見学・体験学習	10
合 計	13

### (2) 実技指導 令和4年度

内 容	回 数
消火・避難訓練	16
起震車体験	2
煙体験	5
合 計	23

### (3) 広報活動 令和4年度

内 容	回 数
巡回広報・パレード	延べ20回
防火啓発紙の配布	延べ5回
市広報誌への掲載	随 時
市、消防本部のホームページへの掲載	随 時
瀬戸内市防災無線広報	随 時
防火看板類の掲示	本署で年間を通じて防火標語、本署・両分駐所で火災予防運動期間中





# 1 通信指令施設

設 置 名 等		設置数	備 考	
指 令 装 置	指令台 (I型)	119番受付回線	12	メール・FAX・NET119含
		指令回線	3	本署、牛窓、長船
		一般加入回線	4	INS回線
		自動出動指定装置	1式	
		地図等検索装置	2台	
		長時間録音装置	1台	
		非常用指令設備	1台	
		指令制御装置	1式	
		署所端末装置	3式	本署、牛窓、長船
		携帯電話・IP電話受信転送装置	1式	
		無線指令受付装置	2式	牛窓、長船
		駆込通報装置	3式	本署、牛窓、長船
表 示 盤		支援情報表示盤	1面	
		多目的情報表示盤	1面	65インチ
		映像制御装置	1面	
		告知表示盤	6式	
無 線 統 制 台		1台	12ch統制部	
指 令 伝 送 装 置		指令情報送信装置	1式	
		指令情報出力装置	3式	
気 象 情 報 収 集 装 置		1式		
災 害 状 況 等 自 動 案 内 装 置		1式		
順 次 指 令 装 置		1式		
音 声 合 成 装 置		4式		
署 所 監 視 カ メ ラ シ ス テ ム		4台	WEBカメラ	
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置		1式	13台	

設 置 名 等		設置数	備 考
システム監視装置		1式	
電源設備		1式	
位置情報通知システム		1式	統合型
IT情報端末(Web型)		2式	指令台併設型
NET 119 受信装置		1式	
119番受信FAX		1式	
メール119番受信装置		1式	
119番補助受付装置		2式	
防災無線連動装置		1式	
消防情報支援システム	消防情報管理装置	1式	
	消防情報支援端末装置	5式	
避雷装置	高速電源避雷器	3式	本署、牛窓、長船
	高速回線避雷器	16回線	

## 2 有線通信施設

種 別	設置数	備 考
119番受付回線	12	固定4、携帯転送1、携帯4、メール1、FAX1、NET1
一般加入回線	10	本部・本署 8、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
携帯電話	9	救急車4、本部・本署2、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1、指揮車1
ファクシミリ	4	本部・本署 2、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
テレホンサービス	2	火災情報案内、病院情報案内

### 3. 無線通信施設

デジタル無線(260MHz帯)

チャンネル番号	種 別	運用区分
1	活動波 1	火災、救急等の業務全般に使用
2	活動波 2	
3	主運用波 7	県内からの応援部隊による火災、救急業務等及び消防機関相互の連絡調整に使用
4	統制波 1	異なる都道府県に属する消防機関相互の応援活動を行う場合において、各消防機関相互の通信統制を行うために使用
5	統制波 2	
6	統制波 3	
7	主運用波 1	広域応援又は救援時に限り使用
8	主運用波 2	
9	主運用波 3	
10	主運用波 4	
11	主運用波 5	
12	主運用波 6	

種 別	局 数	設 置 場 所		
固 定 局	2 局	四辻山基地局 1、倉懸山中継所 1		
基 地 局	2 局	四辻山基地局 1、牛窓基地局 1		
陸上移動局	卓上型(5W)	3 局	消防本部 1、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1	
	車載型(5W)	1局	瀬戸内市消防本部	指揮車 1
		10局	瀬戸内市消防署	消防車 4、救急車 2、救助工作車 1、資機材搬送車 3
		2局	牛 窓 分 駐 所	消防車 1、救急車 1
		2局	長 船 分 駐 所	消防車 1、救急車 1
	可搬型(5W)	1局	瀬戸内市消防署 1	
	携帯型(1W)	18局	瀬戸内市消防署 14、牛窓分駐所 2、長船分駐所 2	

署活系無線 アナログ無線(400MHz帯)

チャンネル番号	種 別	運用区分	
1	署活波1	免許人の管轄区域及びその周辺以外においては、緊急消防援助隊が消防の応援等のために出動するとき又は訓練時に限る	
	緊急消防援助隊用波10		
2	署活波2		
	緊急消防援助隊用波12		
3	緊急消防援助隊用波1	緊急消防援助隊の応援等のために出動するとき又は訓練時に限る	
4	緊急消防援助隊用波2		
5	緊急消防援助隊用波3		
6	緊急消防援助隊用波4		
7	緊急消防援助隊用波5		
8	緊急消防援助隊用波6		
9	緊急消防援助隊用波7		
10	緊急消防援助隊用波8		
11	緊急消防援助隊用波9		
12	緊急消防援助隊用波11		
13	緊急消防援助隊用波13		
14	緊急消防援助隊用波14		
15	緊急消防援助隊用波15		
16	緊急消防援助隊用波16		
17	緊急消防援助隊用波17		
18	防災相互波		他の防災関係機関所属の無線局と通信を行う場合に限る

種 別	局 数	設 置 場 所
陸上移動局	署活系無線	26局
		瀬戸内市消防署 20、牛窓分駐所 3、長船分駐所 3

#### 4. 火災報知専用電話(119)月別受信状況

通報の 種別 月 別	火 災	救 急 ( 救 助 含 む )	そ 災 の 他 の 害	問 合 せ	回 線 試 験	い た ず ら	間 違 い	そ の 他	転 送	合 計
1月	2	156	1	9	2	0	8	44	10	232
2月	2	121	2	4	17	0	9	36	10	201
3月	1	147	2	3	10	1	4	43	8	219
4月	0	157	2	0	11	0	3	25	6	204
5月	1	170	1	12	21	1	6	44	6	262
6月	0	163	3	10	18	0	7	52	10	263
7月	0	167	0	12	19	0	8	54	16	276
8月	0	177	3	13	22	0	19	47	13	294
9月	0	170	4	13	21	0	14	45	18	285
10月	2	164	2	2	24	0	9	57	14	274
11月	0	162	3	9	15	0	10	66	17	282
12月	1	175	4	13	11	0	5	37	10	256
合 計	9	1,929	27	100	191	2	102	550	138	3,048

## 5. 医療機関問い合わせの受付状況

診療科目	内科		外科・整形外科		脳外科		小児科		精神科		産科・婦人科		循環器科		眼科		耳鼻咽喉科		歯科		泌尿器科		合計		
	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	
受付の種別	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	
8:30~17:00	5	7	7	11	0	2	0	9	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	1	0	0	1	2	16	38
17:00~8:30	17	3	22	15	3	0	9	11	0	0	1	0	1	0	1	1	2	1	1	0	0	0	0	57	31
合計	22	10	29	26	3	2	9	20	0	0	1	0	1	0	4	7	2	2	1	0	1	2	73	69	

## 6. 月別気象状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考	
気温 ℃	平均気温	2.8	2.5	8.6	13.8	17.4	22.2	26.5	27.5	24.2	16.1	12.0	4.5	年平均 14.8 ℃	
	最高気温	11.9	14.6	21.3	24.6	29.4	33.9	34.2	35.4	32.3	30.0	22.3	15.2	年最高 35.4 ℃	
	最低気温	-4.8	-5.9	-2.9	-0.9	4.5	9.8	19.9	15.8	14.1	4.7	3.1	-4.4	年最低 -5.9 ℃	
湿度 %	平均湿度	83.8	80.2	83.3	78.8	79.6	85.0	88.1	86.5	86.2	86.0	89.4	83.0	年平均 84.2 %	
	最低湿度	38.0	33.8	29.7	11.9	19.1	25.8	47.5	48.6	43.8	35.8	39.4	39.1	年最低 11.9 %	
天候	晴天日数	23	26	20	23	21	19	17	23	18	25	22	25	262 日 71.6 %	
	曇天日数	7	2	7	4	8	8	10	6	10	4	4	5	75 日 20.5 %	
	降雨日数	1	0	4	3	2	3	4	2	2	2	2	4	1	28 日 7.7 %
	降雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 日 0.0 %
	霧日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 日 0.0 %
	降雨量mm	10.5	15.0	86.0	69.0	43.0	93.5	98.5	76.0	72.0	37.5	44.5	16.0	総雨量 661.5 mm	
風向 風速	平均風速	2.0	2.3	1.9	2.0	1.8	1.9	1.8	1.5	1.9	1.5	1.5	2.1	年平均 1.9 m	
	最大瞬間風速	23.1	18.7	17.1	18.3	14.9	15.3	13.7	15.2	25.7	13.5	16.0	21.1	年最大 25.7 m	
	平均風向	WSW	WSW	SE	SE	SE	ESE	WSW	NW	ESE	WNW	NW	WSW	年最多 SE	

備考

1 平均気温、平均湿度、平均風速については、1時間ごとの平均値とし、瀬戸内市消防本部の気象観測による。

2 天候については、午前9時の気象による。

## 7. 瀬戸内市の震度に関する情報

令和4年

地震発生の日時	震央地名	震源の深さ	地震の規模	最大震度	瀬戸内市の震度・観測場所	
1月22日 1時08分	日向灘	45km	M6.6	5強	邑久 長船 牛窓	震度2
5月3日 15時55分	鳥取県東部	10km	M4.3	3	邑久 長船	震度1
6月17日 0時55分	徳島県南部	50km	M4.8	4	邑久 長船 牛窓	震度1
12月29日 1時50分	高知県東部	40km	M4.4	3	長船	震度1

令和2年	瀬戸内市の震度1以上の有感回数	2回
令和3年	瀬戸内市の震度1以上の有感回数	12回

備考1 観測場所について、「瀬戸内市邑久町」は瀬戸内市役所、「瀬戸内市牛窓町」は牛窓支所、「瀬戸内市長船町」は長船支所の所在地です。  
 2 平成15年12月16日付けで東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進地域の指定を受ける。

# 警防 消防

## 1. 消防車両現勢一覧

令和5年4月1日現在

所属	車種	名称	登録番号	車両年式	原動機性能		ポンプ性能		積載資器材
					気筒数	排気量	級別	規格放水量	
瀬戸内市消防本部署	水槽付ポンプ車	瀬戸内1号車	岡山800は17-37	令和2年	4	5,120	A2	2.0	水槽2000ℓ、CAFS泡消火薬液120ℓ、筒先(エコファイターノズル、Gフォースノズル、クアドラノズル)、空気呼吸器、三連梯子、投光器、発電機、消防用ホース、エンジンカッター、チェーンソー、自動昇降装置電動ホースカー、フォグネイル、マルチツール
	高規格救急車	瀬戸内3号車	岡山800す24-04	平成17年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 オゾン発生装置、冷温蔵庫
	資機材搬送車	瀬戸内4号車	岡山480た60-92	平成28年	3	650			
	連絡車	瀬戸内6号車	岡山480な40-91	令和3年	3	650			
	指揮車	瀬戸内7号車	岡山800さ46-31	平成12年	4	2,980			現場対策本部設置用具、火災原因調査用具、投光器、発電機
	資機材搬送車	瀬戸内8号車	岡山800あ17-03	平成13年	3	650			
	資機材搬送車	瀬戸内9号車	岡山800せ30-63	令和4年	4	4,000			ゴムボート、船外機一式、水難救助器具一式
	連絡車	瀬戸内10号車	岡山581の27-74	令和3年	3	650			
	高規格救急車	瀬戸内11号車	岡山800せ23-57	令和2年	6	2,690			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等、 冷温蔵庫、オゾン発生装置
	多目的車	瀬戸内12号車	岡山800は18-86	令和5年	4	5,120	A2	2.0	水槽900ℓ、CAFS、泡消火薬剤60ℓ、13.7m、筒先(エコファイターノズル、クアドラノズル)、空気呼吸器、三連梯子、投光器、消防用ホース
	ポンプ車	瀬戸内13号車	岡山800す11-16	平成16年	4	4,890	A2	2.0	可搬ポンプ式(C-1)、二連梯子、消防用ホース、空気呼吸器、投光器、発電機、電動ホースカー、筒先(クアドラノズル、フォッグガン)、ジェットシューター
	連絡車	瀬戸内14号車	岡山480て71-69	令和1年	4	650			放送設備
	ポンプ車	瀬戸内15号車	岡山88す95-35	平成8年	6	4,100	A2	2.0	可搬ポンプ式(C-1)、二連梯子、消防用ホース、筒先、空気呼吸器、投光器、発電機、ホースカー、ジェットシューター
救助工作車	瀬戸内16号車	岡山800は7-62	平成16年	6	6,400			一般救助器具、重量物排除器具、切断用器具、破壊用器具、測定用器具、呼吸保護用器具、隊員保護用器具、水難救助用器具等	
牛窓分駐所	ポンプ車	牛窓1号車	岡山800す58-47	平成22年	6	4,000	A2	2.0	可搬ポンプ式(C-1)、二連梯子、消防用ホース、筒先(クアドラノズル)、空気呼吸器、投光器、発電機、電動ホースカー、ジェットシューター
	高規格救急車	牛窓2号車	岡山800せ29-87	令和3年	4	2,480			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 オゾン発生装置、冷温蔵庫
長船分駐所	ポンプ車	長船1号車	岡山800せ5-82	平成29年	4	4,000	A2	2.0	水槽600ℓ、CAFS泡消火薬液60ℓ、筒先、空気呼吸器、三連梯子、投光器、消防用ホース、エンジンカッター、電動ホースカー、ジェットシューター
	高規格救急車	長船2号車	岡山800す73-99	平成24年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 静脈可視装置、オゾン発生装置、冷温蔵庫



## 2. 火災概況

種 別	2020年中 (令和2年中)	2021年中 (令和3年中)	2022年中 (令和4年中)
出火件数(件)	10	16	11
焼損棟数(棟)	10	21	8
り災世帯数(世帯)	6	6	4
り災人員(人)	19	12	8
死者(人)	0	3	1
負傷者(人)	1	1	1
焼損床面積(m <sup>2</sup> )	288	448	429
焼損表面積(m <sup>2</sup> )	4	59	32
林野焼損面積(a)	0	3	12
損害額(千円)	24,725	16,681	8,999
1日平均出火件数(件)	0.03	0.04	0.03
1日平均り災人員(人)	0.05	0.03	0.02
1日平均り災世帯(世帯)	0.02	0.02	0.01
1日平均り災損害額(千円)	68	46	25
建物火災1件当りの損害面積(m <sup>2</sup> )	41	41	72
火災1件当りの損害額(千円)	2,473	1,043	818
住民1人当りの損害額(円)	667	455	246
1世帯当りの損害額(円)	1,563	1,060	565
市の人口(人)	37,049	36,667	36,525
市の世帯数(戸)	15,816	15,739	15,922
出火率	2.7	4.4	3

※人口・世帯数は各年1月1日現在

※出火率:人口1万人あたりの出火件数

### 3. 過去3年間の出火原因別火災発生状況

(令和4年)

火災種別	出火原因															計										
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	テーブルタップ	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マツチ・ライター	たき火		ボイラー	個体の衝突摩擦による火花	ハンドトーチ	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明
建物			1		1	1		1																	2	6
林野															2											2
車両																								1		1
その他	1																							1		2
爆発																										0
計	1		1		1	1		1						2										1	3	11

(令和3年)

火災種別	出火原因															計										
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	接続器	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マツチ・ライター	たき火		ボイラー	個体の衝突摩擦による火花	ハンドトーチ	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明
建物	1	2											2		1									3	2	11
林野																				1						1
車両								2																		2
その他																					1			1		2
爆発																										0
計	1	2				1	1						2		1					2	1			3	2	16

(令和2年)

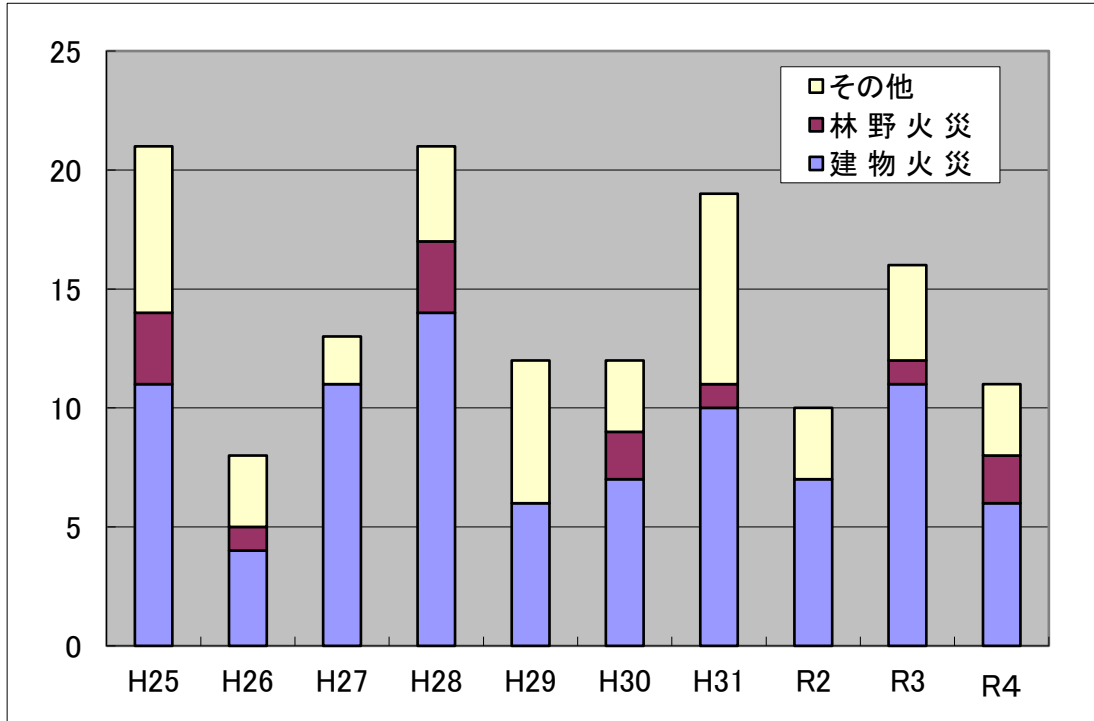
火災種別	出火原因															計										
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	接続器	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マツチ・ライター	たき火		ボイラー	個体の衝突摩擦による火花	ハンドトーチ	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明
建物		1			1	1							1							1	1			1		7
林野																										
車両								1																		1
その他	1															1										2
爆発																										
計	1	1			1	1	1						1		1					1	1			1		10

#### 4. 過去5年間の火災発生比較

区分	年別	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
火災件数	火災件数	12	19	10	16	11
	建物	7	10	7	11	6
	林野	2	1	0	1	2
	車両	2	2	1	2	1
	その他	1	6	2	2	2
焼損棟数	焼損棟数	11	11	10	21	8
	全焼	5	2	2	8	3
	半焼	1	2	1	1	0
	部分焼	1	4	3	6	2
	ぼや	4	3	4	6	3
焼損面積	焼損床面積(m <sup>2</sup> )	553	467	288	448	429
	焼損表面積(m <sup>2</sup> )	25	8	4	59	32
	林野(a)	54	60	0	3	12
り災世帯数	5	7	6	6	4	
り災人員	10	20	19	12	8	
死者	0	0	0	3	1	
負傷者	0	2	1	1	1	
損害額(千円)	損害額(千円)	47,342	18,504	24,725	16,681	8,999
	建物	46,769	17,030	23,705	15,412	8,980
	林野	573	0	0	0	0
	車両	0	232	1,000	1,249	10
	その他	0	1,242	20	20	9

## 5. 過去10年間の火災動向

年	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
建物火災	11	4	11	14	6	7	10	7	11	6
林野火災	3	1	0	3	0	2	1	0	1	2
その他	7	3	2	4	6	3	8	3	4	3
合計	21	8	13	21	12	12	19	10	16	11



## 6. 水利現況

令和4年12月31日現在

区別		町別			
		牛窓町	邑久町	長船町	計
消 火 栓	75mm	83	233	232	548
	100mm	54	107	114	275
	150mm	49	65	82	196
	200mm以上	53	53	16	122
	計	239	458	444	1,141
防 火 水 槽	20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	2	3	10	15
	40m <sup>3</sup> 以上	17	56	27	100
そ の 他	プール	3	5	4	12
	接岸(海)	4	4	0	8

# 警 防 救急・救助

## 1. 救 急 概 況

項 目	令和3年		令和4年	
1. 出 場 件 数	1,833件		2,102件	
火 災	1件	0.1%	1件	0.1%
自 然 災 害	0件	0.0%	0件	0.0%
水 難	3件	0.2%	3件	0.2%
交 通	98件	5.3%	100件	4.7%
労 働 災 害	17件	0.9%	24件	1.1%
運 動 競 技	18件	1.0%	6件	0.3%
一 般 負 傷	310件	16.9%	343件	16.3%
加 害	4件	0.2%	3件	0.2%
自 損 行 為	14件	0.8%	11件	0.5%
急 病	1,188件	64.8%	1,424件	67.7%
そ の 他	180件	9.8%	187件	8.9%
2. 傷 病 者 搬 送 件 数	1,751件		1,938件	
3. 搬 送 人 員	1,761人		1,944人	
男	876人	49.7%	976人	50.2%
女	885人	50.3%	968人	49.8%
4. 出 場 件 数 の 多 い 月	8月		5月 12月	
5. 出 場 件 数 の 多 い 曜 日	土曜日		月曜日	
6. 出 場 件 数 の 多 い 時 間 帯	10～12時		8～10時	
7. 1 日 の 最 多 出 場 件 数	12件		14件	
8. 1 日 の 最 少 出 場 件 数	0件		0件	
9. 1 日 当 た り の 平 均 出 場 件 数	5.0件		5.8件	
10. 1 日 当 た り の 平 均 搬 送 員	4.8人		5.3人	
11. 1 件 当 た り の 医 療 機 関 問 合 わ せ 回 数	1.31回		1.47回	
12. 人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	20.8人に1人		18.8人に1人	
	令和4年1月1日現在		令和5年1月1日現在	
	人 口 36,667人		人 口 36,525人	
	世 帯 数 15,739戸		世 帯 数 15,922戸	

## 2. 時間別出場件数

時間区分	件数	時間区分	件数
0 ~ 2	91	12 ~ 14	237
2 ~ 4	52	14 ~ 16	216
4 ~ 6	92	16 ~ 18	232
6 ~ 8	139	18 ~ 20	239
8 ~ 10	280	20 ~ 22	142
10 ~ 12	275	22 ~ 24	107

## 3. 過去5年の署所別出場件数

年	30年	31年・1年	2年	3年	4年
本署	887	994	888	963	1,116
牛窓分駐所	317	292	249	275	346
長船分駐所	560	600	525	595	640
計	1,764	1,886	1,662	1,833	2,102

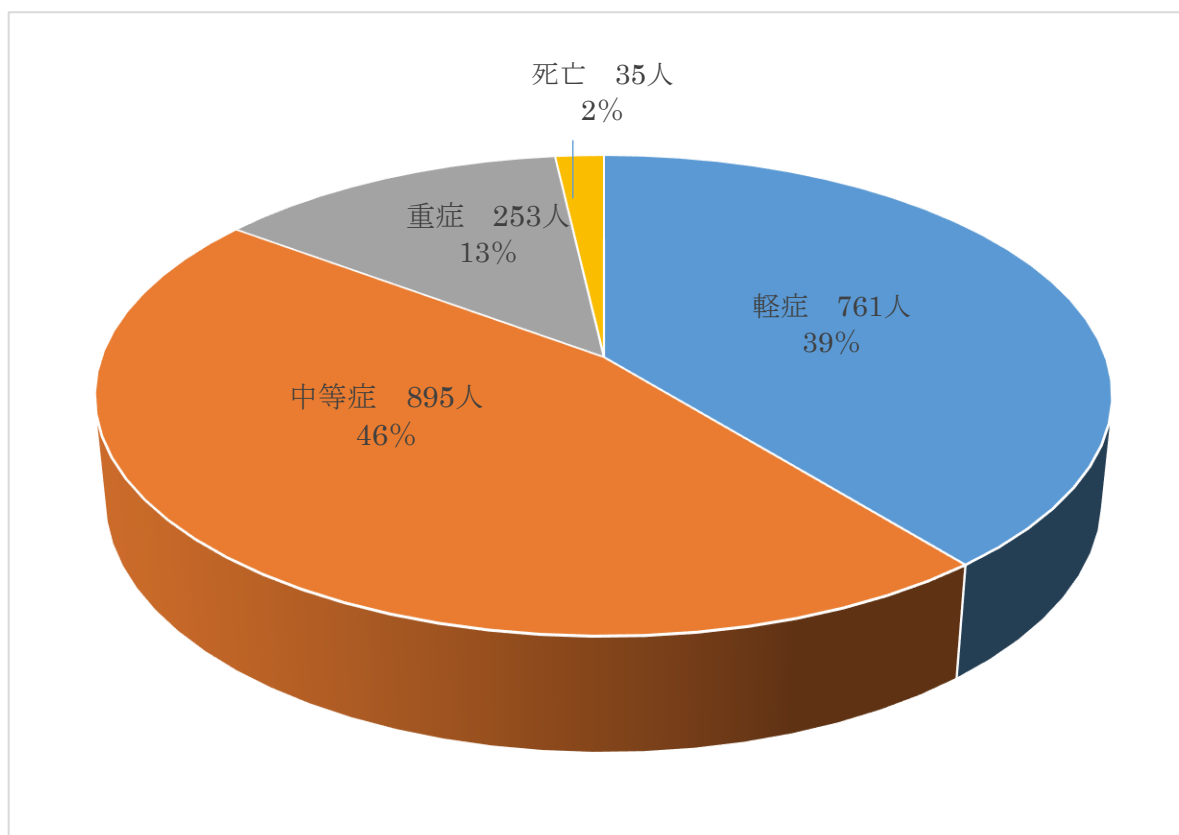
#### 4. 曜日別月別救急出場件数

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資器 材等	その他	
曜 日 別	月				13	8		55	1		217	29				323
	火				18	4		39		2	192	24			1	280
	水	1		1	21	1		44	1	1	188	37				295
	木				13	3	3	58		1	209	29			1	317
	金				11	3		52	1	3	196	35				301
	土			1	8	4	2	41		1	226	20	1		2	306
	日			1	16	1	1	54		3	196	8				280
	計	1		3	100	24	6	343	3	11	1424	182	1		4	2102
月 別	1月	1			2	4	1	26		1	124	13				172
	2月				3	1		31			90	6			1	132
	3月				10	1		25	1		101	15				153
	4月				9	2	2	19		3	109	19				163
	5月			1	7	2		35	1	2	130	15			1	194
	6月				10	5		35		1	106	20				177
	7月				8	4		26			132	19	1			190
	8月			1	10		1	24		1	143	6				186
	9月				13	1		26	1	2	127	17			1	188
	10月				7	2	1	25		1	124	15			1	176
	11月			1	12	1		38			108	17				177
	12月				9	1	1	33			130	20				194

## 5. 事故種別出場件数と男女別搬送人員

事故種別	出場件数	搬送人員		
		男	女	計
火災	1			
自然災害				
水難	3	3		3
交通	100	53	41	94
労働災害	24	23	1	24
運動競技	6	6		6
一般負傷	343	133	191	324
加害	3		3	3
自損行為	11	3	3	6
急病	1424	661	642	1303
その他	187	94	87	181
合計	2102	976	968	1944

## 6. 傷病程度別搬送状況(搬送人員1,944人 100%)





## 7. 年齢区分別傷病程度の状況

程 度 \ 区 分	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	計
死 亡				4	31	35
重 症				44	209	253
中 等 症		11	12	127	745	895
軽 症		47	35	225	454	761
そ の 他						
計		58	47	400	1439	1944



## 8. 事故種別応急処置状況

事故種別	搬送人員	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法	血糖測定	除細動	輸液	薬剤投与	その他	血圧測定	聴診器	血中酸素	心電図	合計
急病	1303	1302	6	21	4		34	327	47	66	5	8	17	5	18	10	114	1256	545	1258	718	4459
交通	94	94	5	57			1	11	1	13	14						1	93	44	92	23	355
一般負傷	324	322	29	104			4	19	5	10	42	2					16	313	64	318	57	983
上記以外	223	223	9	21	1			49	2	12	11						17	222	74	222	92	733
計	1944	1941	49	203	5		39	406	55	101	72	10	17	5	18	10	148	1884	727	1890	890	6530

## 9. 急病にかかる疾病分類・傷病程度別搬送人員

疾病分類 傷病程度	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
	脳疾患	心疾患等									
死亡	3	16		3				1		6	29
重症	35	28	13	25	1	2	9	12	26	11	162
中等症	61	48	66	110	4	27	46	13	131	83	589
軽症	15	38	38	25	19	47	26	2	153	160	523
その他											
計	114	130	117	163	24	76	81	28	310	260	1303

## 10. 医療機関別搬送人員

区 分	医 療 機 関														そ の 他 の 場 所	合 計	
	救急告示医療機関					その他の医療機関					計						
	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的				計
病 院			診 療 所	病 院				診 療 所	病 院				診 療 所				
人 員	(238)	(240)	(803)	(15)	(1296)	(3)	(0)	(40)	(2)	(45)	(241)	(240)	(843)	(17)	(1341)	(0)	(1341)
	840	240	803	15	1898	3	0	40	3	46	843	240	843	18	1944	0	1944
割 合	100														0	100	
	97.6					2.4					100						
(%)	44.3	12.6	42.3	0.8	100	6.5	0.0	87.0	6.5	100	43.4	12.3	43.4	0.9	100		

※ ( ) うち書きは、管外の医療機関に収容した人数。

## 11. 管内管外別搬送人員

事故種別 区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その 他	計
管内に住所 を有する者			1	65	7	2	298	2	6	1193	167	1741
管外に住所 を有する者			2	29	17	4	26	1		109	14	202
その他										1		
計			3	94	24	6	324	3	6	1303	181	1944

## 12. 現場到着所要時間別出動件数状況

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到 着最短 所要時 間(分)	現場到 着最長 所要時 間(分)	現場到着 平均所要 時間(分)
急病	26	20	712	631	35	1424	0	40	10.1
交通	2	4	46	46	2	100	1	24	9.5
一般負傷	10	5	180	143	5	343	1	41	9.4
上記以外	2	21	153	42	17	235	1	45	9.0
計	40	50	1091	862	59	2102			

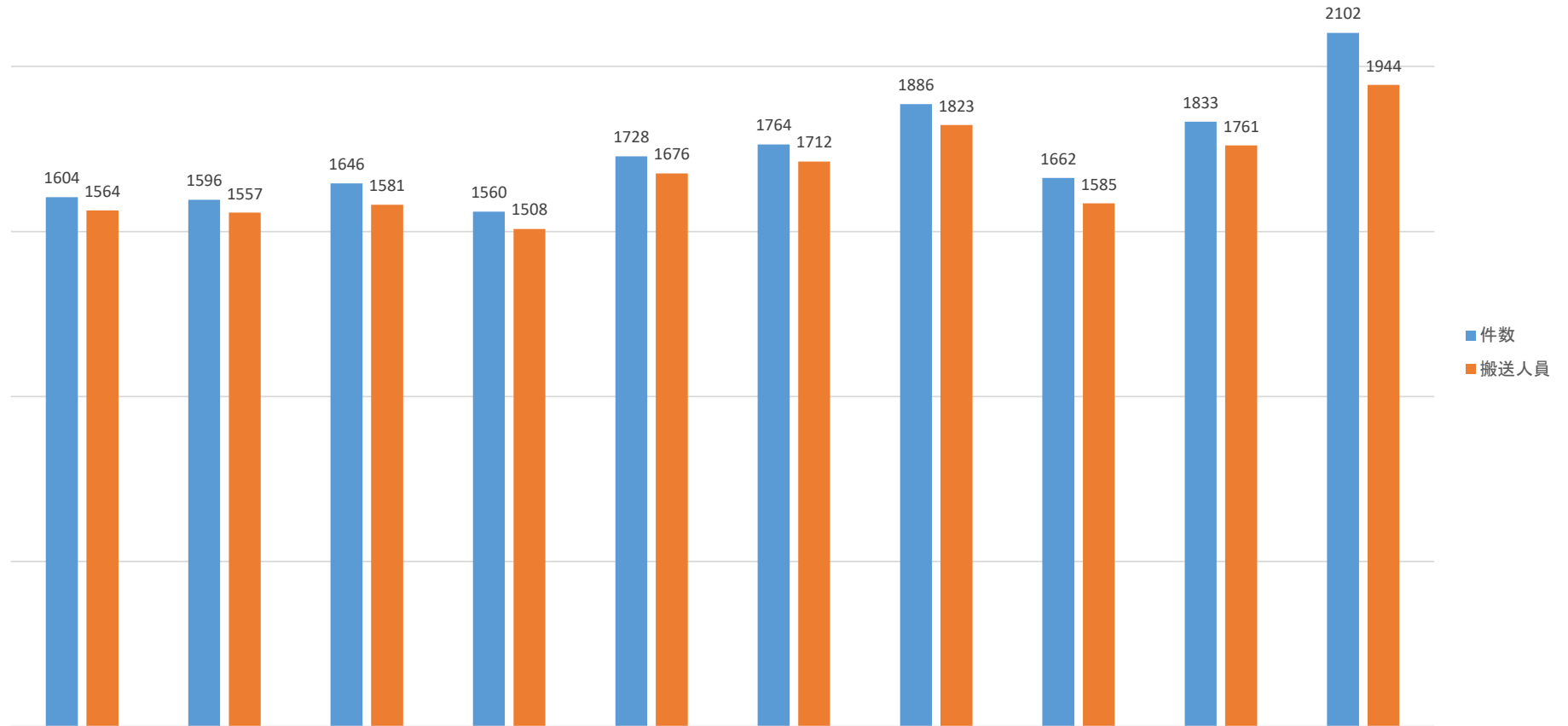
### 13.收容所要時間別搬送人員狀況

時間(分) 事故種別	時間(分)						計
	10未満	10～20	20～30	30～60	60～120	120以上	
急病		9	204	898	186	6	1303
交通			15	70	9		94
一般負傷	1	6	52	245	19	1	324
上記以外		4	25	173	21		223
計	1	19	296	1386	235	7	1944

### 14.発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	発生場所					計
	住宅	公衆出入	仕事場	道路	その他	
急病	952	300	20	24	7	1303
交通	1	4		80	9	94
一般負傷	213	66	2	26	17	324
上記以外	10	186	17	3	7	223
計	1176	556	39	133	40	1944

### 15. 過去10年間の搬送状況

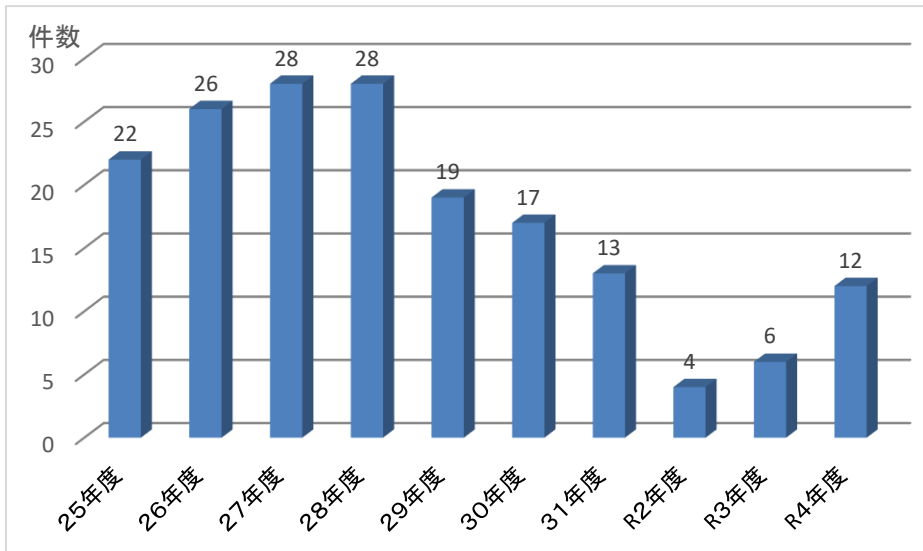


	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年・R1年	R2年	R3年	R4年
件数	1604	1596	1646	1560	1728	1764	1886	1662	1833	2102
搬送人員	1564	1557	1581	1508	1676	1712	1823	1585	1761	1944

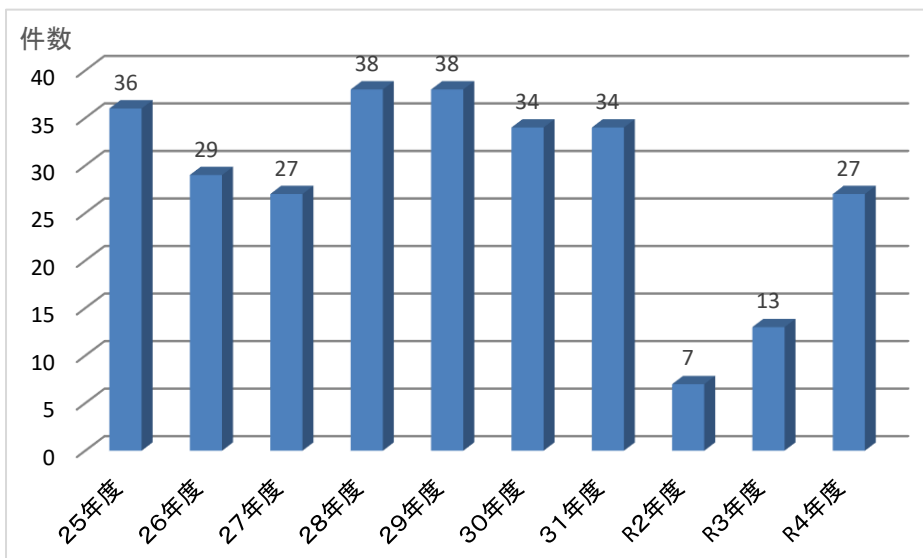
## 16. 事故種別年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児												
乳幼児				2			15			41		58
少年				5		6	6			29	1	47
成人				52	19		41	2	5	251	30	400
高齢者			3	35	5		262	1	1	982	150	1439
計			3	94	24	6	324	3	6	1303	181	1944

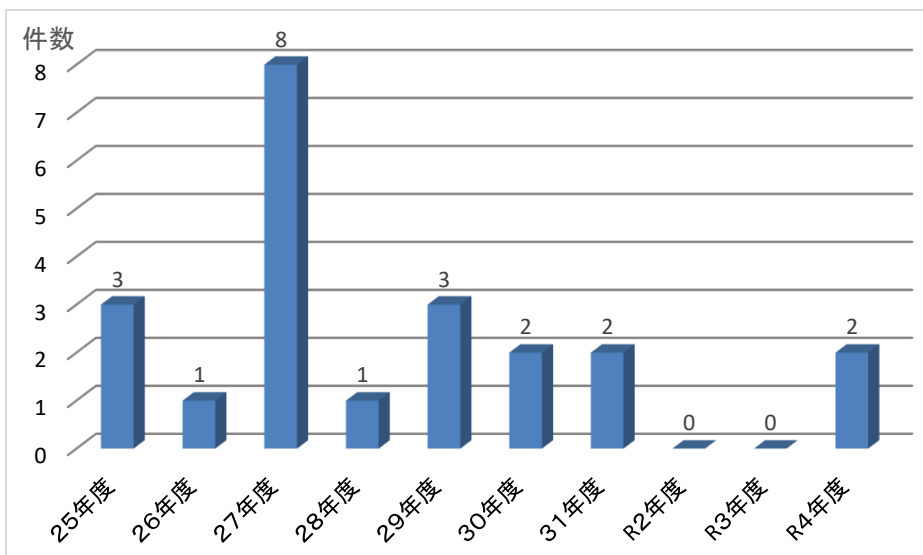
## 17. 実技指導



普通救命講習



応急手当



水上安全



# 18. 救助概況

令和4年中

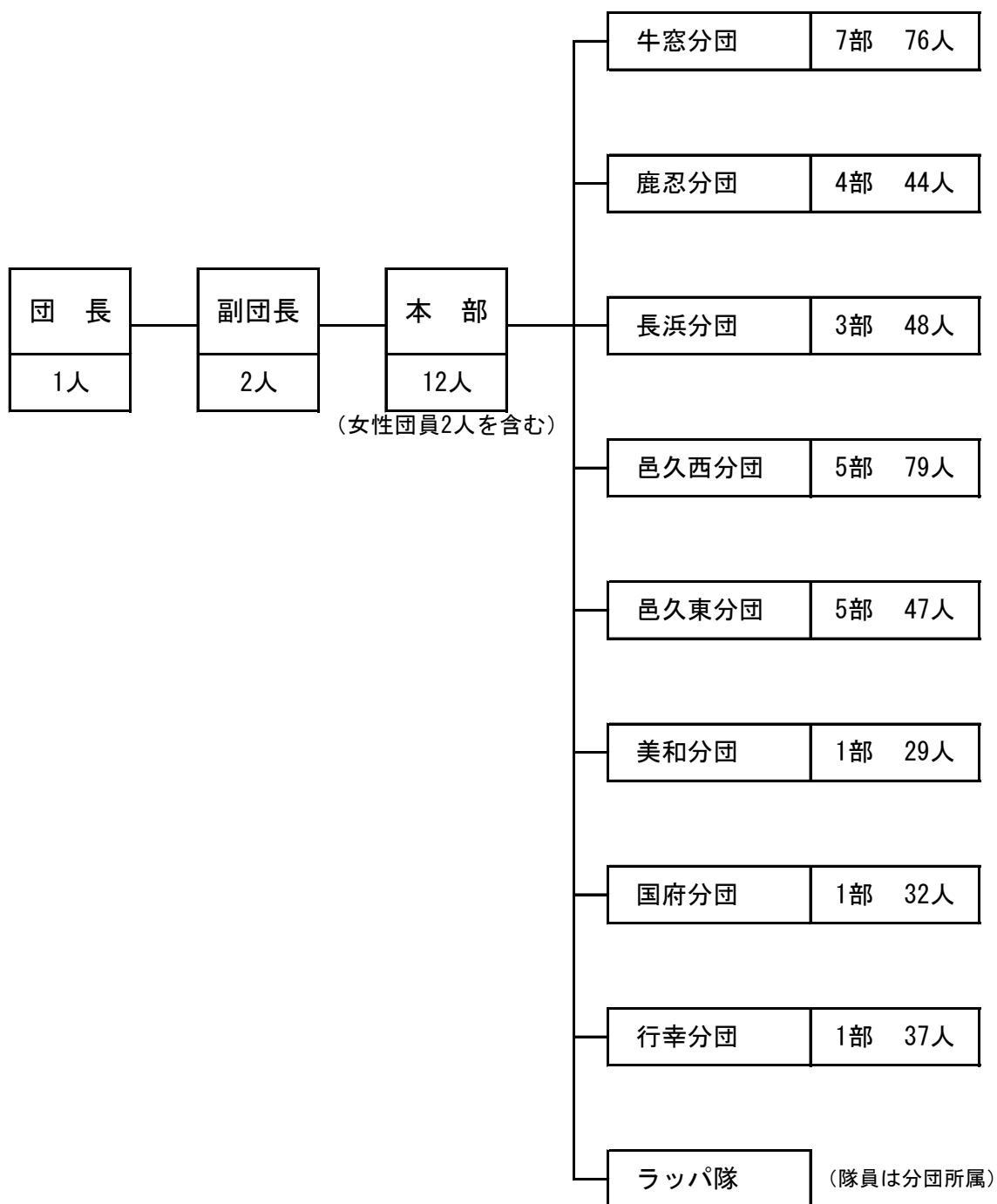
区分 事故種別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 人 員					出 動 車 両 等							
				計	専 任 救 助 隊 員	兼 任 救 助 隊 員	消 防 隊 員	救 急 隊 員	計	救 助 工 作 車	消 防 ポン プ 自 動 車	水 槽 付 ポン プ 車	指 揮 車 ・ 指 令 車	救 急 車	そ の 他 の 車 両	ヘ リ コ プ ター
合 計	31	14	14	253		118	44	91	80	31	1		10	31	7	
交 通 事 故	10	5	5	84		37	16	31	26	10			6	10		
水 難 事 故	3			25		14	2	9	9	3			1	3	2	
機 械 に よ る 事 故	1			7		4	3		2	1				1		
建 物 等 に よ る 事 故	5	4	4	34		18	1	15	10	5				5		
そ の 他 の 事 故	12	5	5	103		45	22	36	33	12	1		3	12	5	



# 消 防 団

## 1. 消防団の組織及び定員

令和5年4月1日 現在



1 団      8 分団  
 定員    450人  
 実員    407人    (うち女性団員2人を含む)

## 2. 消防団階級別人員調

令和5年4月1日 現在

(単位：人)

階級 \ 所属	本部		牛窓	鹿忍	長浜	邑久西	邑久東	美和	国府	行幸	計
	幹部	本部									
団 長	1										1
副 団 長	2										2
分 団 長		8	1	1	1	1	1	1	1	1	16
副 分 団 長			2	2	1	2	1	1	1	1	11
部 長		2	7	4	3	5	5	1	1	1	29
班 長		1 (1)	7	8	4	5	5	4	4	4	42 (1)
団 員		1 (1)	59	29	39	66	35	22	25	30	306 (1)
合 計	3	12 (2)	76	44	48	79	47	29	32	37	407 (2)

※ ( ) 数字はうち女性団員

令和5年4月1日 現在

年齢 \ 階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長 (うち 女性 団員)	団 員 (うち 女性 団員)	計 (うち 女性 団員)
18以上～20未満								0
20～25						2	7	9
25～30					1	1	17	19
30～35							19	19
35～40					2	5	46	53
40～45					6	15	48	69 (0)
45～50			1	2	9	9 (1)	73	94 (1)
50～55			5	5	5	5	52 (1)	72 (1)
55～60		1	4	3	3	4	30	45
60以上	1	1	6	1	3	1	14	27
計	1	2	16	11	29	42 (1)	306 (1)	407 (2)

#### 4. 団員報酬及び諸手当

令和5年4月1日 現在

階級	区分	報酬 (年)	火災出動 (1回)		風水害等 その他の災害		警戒出動 等	訓練	その他
			4時間 未満	4時間 以上	4時間 未満	4時間 以上			
団	長	119,000	4,000	8,000	4,000	8,000	1,500	2,000	1,000
副	団 長	99,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
分	団 長	72,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
副	分 団 長	50,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
部	長	37,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
班	長	37,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
団	員	36,500	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

単位 (円)

## 5. 消防団車両状況

令和5年4月1日 現在

所 属	車 種	プレート番号	登録年月
団本部	司令車	岡山800 せ 37-62	R 5. 3
団本部	多機能車 (可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 積載)	岡山800 す 58-65	H 22. 3
団本部	ポンプ車	岡山800 す 87-95	H 27. 2
団本部	防災活動車	岡山880 あ 17-33	H 29. 12
団本部	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車 (簡易 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 車)	岡山800 す 14-00	H 17. 2
牛窓分団第1部 (東町)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山80 あ 19-11	H 14. 12
牛窓分団第2部 (関町)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山80 あ 15-70	H 12. 12
牛窓分団第3部 (中浦)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 せ 23-99	R 2. 12
牛窓分団第4部 (紺浦)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山880 あ 21-85	R 2. 11
牛窓分団第5部 (師楽)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 さ 30-01	H 12. 2
牛窓分団第6部 (幡)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 さ ・ 329	H 10. 7
牛窓分団第7部 (前島)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 あ 13-28	H 26. 11
鹿忍分団第1部 (西浜)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 せ 24-00	R 2. 12
鹿忍分団第3部 (野上)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山880 あ 20-26	R 1. 11
鹿忍分団第4部 (千手)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山80 あ 17-34	H 13. 9
鹿忍分団第5部 (西脇)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山80 あ 15-71	H 12. 12
長浜分団第1部 (奥浦)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 さ ・ 330	H 10. 7
長浜分団第2部 (小津)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 さ 30-02	H 12. 2
長浜分団第3部 (粟利郷)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山80 あ 19-10	H 14. 12
邑久西分団第1部 (邑久)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 せ 13-80	H 31. 2
邑久西分団第2部 (福田)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 す 56-77	H 21. 12
邑久西分団第3部 (今城)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 す 35-44	R 4. 11
邑久西分団第4部 (豊原)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 す 56-79	H 21. 12
邑久西分団第5部 (笠加)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車 (簡易 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 車)	岡山800 す 42-45	H 19. 12
邑久東分団第1部 (本庄)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 せ ・ 702	H 30. 2
邑久東分団第2部 (玉津)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 す 50-04	H 20. 12
邑久東分団第3部 (鍛冶谷)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山80 あ 17-33	H 13. 9
邑久東分団第4部 (瀬戸)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 す 56-37	H 21. 12
邑久東分団第5部 (浜)	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 せ 31-41	R 4. 3
美和分団	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 さ 99-83	H 16. 2
国府分団	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 さ 85-14	H 15. 3
行幸分団	可搬 <sup>ホ</sup> ン <sup>フ</sup> 付積載車	岡山800 さ 99-84	H 16. 2

## 6. 出動状況

令和5年4月1日 現在

種別 分類	火 災	風水害等 の災害	演習・訓 練等	広 報	警防調査	特別警戒	その他	合 計
出動回数	7	1	99	2	20	17	119	265
出動人員	138	195	905	51	132	714	793	2,928

